

# JAL被解雇者労働組合（JAL 争議団）

[info@jhu-wing.main.jp](mailto:info@jhu-wing.main.jp)

<https://jhu-wing.main.jp/>

7月15日

**会社:**

「業務委託契約」に係る事務折衝(第1回)報告

**「業務委託」は「雇用で解決する」(会社回答)の延長線上**

**「業務委託契約」は会社との雇用関係がない！**

【JHU】業務委託は6月23日に3労組に初めて提案したのか。

《会社》そうだ。マッチングに手を上げている方が決まっても、残りの人をどうするか解決が難しいと思っていた。

【JHU】会社は雇用で解決すると一貫して主張してきた。業務委託は会社との雇用関係がない。この矛盾はどう説明するのか。

《会社》雇用を軸にやってきたが、地方の人に職務提供ができなかった。今回の提案はマッチングの深掘り、その軸の延長線上だ。

【JHU】ならば、通常のリモートワークでいいのではないのか。

《会社》リモートワークは時間の制約が出てくる。何時から何時まで働くではなく、業務委託型が自由度があがる。判断するのは受ける側だ。

【JHU】リモートワークも業務中ずっと画面に出ている必要はない。

《会社》就業時間管理も関わってくる。業務委託した事に成果が出る、そこに着目したことでハードルが低くなり、働き方がフレキシブルになる。

【JHU】働く者の権利や働きに対する対価がどうなるのか、これから具体的に質問する。

## 会社:提案が一つの業務の遂行なので、何も提案されなかった場合、委託金の減額や期間途中での契約解除の可能性はある

【JHU】民法で規定されている業務委託契約は請負契約と準委任契約がある。請負契約は業務に対する成果物を完成させて報酬を得る。準委任契約は、法律行為に関係ない業務を行ない、成果物を完成させる責任を負わない。委託された業務の調査、リサーチ、分析、提案書を成果物として提出するのか。

《会社》準委任契約は業務の遂行に対して、委託金を支払うというスキームになっている。業務例の各自治体の情報リサーチでは、募集が出ている、出ていないかをチェックしてレポートとして出して頂く。

【JHU】リサーチしてその結果をレポートとして出すということか。

《会社》見つけることが成果ではなく、キチンとチェックをして業務を遂行したことが委託金支払いの条件。提言は、サービスの改善に結びついた所が成果になる。仮に改善に直接繋がらなくても、提言を頂いたことに対して委託金を支払う。

【JHU】内容は何でも良いから、紙さえ出してくればいいという説明をしているのか。

《会社》そこまで言っていない。キチンと内容は出して下さいということだ。

【JHU】その評価は誰がするのか。

《会社》会社として評価をしていく。

【JHU】誰が評価して、その評価がどう報酬に反映されるのかは次回聞く。

【JHU】リサーチが業務なら、提案書が提出できなくても報酬の対象になるのか。

《会社》提案を頂くことが一つの業務の遂行となるので、何も提案されなかった場合には、委託金の減額であるとか、期間途中での契約解除もあると書かせて頂いている。その可能性はある。

【JHU】レポート提出は定期的に求められるのか。

《会社》仕事と内容による。

【JHU】期間中に提出物を提出できない場合は、途中のレポートでも出せばいいのか。

《会社》一般的には1ヶ月に1回、仕事をお願い

して1ヶ月後に報告があがってくるのが現時点での想定だ。だが頻度は1週間単位か、2週間単位か、1ヶ月単位か、仕事の内容によって変わってくるかもしれない。具体的な仕事が出てきてから詰めていく。

【JHU】ある業務に対して、期限までにレポートを出してもらうが、具体的なものは、今は決まっていないということか。

《会社》1ヶ月でないことも出てくるかもしれない。情報発信のリサーチでは週1回くらいでないと、締め切りが過ぎている募集もあったりする。締め切りがあるものは、分った時点でお伝え頂くこともある。

## 会社:結果的に12万5千円になるようなお仕事をお願いする

【JHU】報酬12万5千円は月間160時間働くと時間単価800円ぐらいで、最低賃金割れする。これはどういう労働時間、時間単価に基づいて出されたのか。

《会社》労働時間という概念に捉われると応募が困難な方も出てくるので、業務委託の形にした。報酬額は、マッチングの方達が毎日通って得ている報酬額を参考にして、あまり高額にすると請け負う仕事の量や質が相当高度なものになるので、自宅でやる、身体への負担、通勤があるなし、拘束の時間から、大体その半分だ。

【JHU】1週間に1回、1ヶ月に1回のレポートを出すのにどれ位時間がかかるか、その業務にかかる時間の概念はないということか。

《会社》12万5千円に相当する結果が戻ってくる仕事をお願いする。例えば高度な語学力がある方

に仕事をお願いした時にばらつきが出てきてしまうので、全員額が同じになるような仕事をお願いしようと思っている。

【JHU】委託する業務例では、それぞれ求められるスキルレベルが相当違う。なのに報酬が同じなのはなぜか。

《会社》結果的に12万5千円になる様な仕事をお願いする。

【JHU】12万5千円の金額はどれくらいの作業時間でできる範囲を想定しているのか。

《会社》業務委託契約なので、こちらは12万5千円相当の結果のものを貰えば良い。

【JHU】他組合との交渉で、報酬額が少ないと指摘されている。報酬額に対する対案は出したのか。

《会社》他の組合との交渉状況をお伝えする必要はない。

## 会社:労使ともに解決したいという思いで一致している、一定の区切り、期間を付け2年間とした

【JHU】契約期間はなぜ2年間なのか。

《会社》業務委託するにしても、会社の体制も必要だし、どこかで一定の区切りを付けないといけない。最終的に労使共に早く解決したいという思いは一致しているので、今回一定の期間を付けて2年間とした。

【JHU】2年間とはどういう期間なのか。

《会社》業務を委託する期間だ。1年更新で2年までなのか、それとも他の方法があるのか、最初から2年契約するのか、最終的に契約をどういう期間でやるのか、これから専門家と話し合う。

【JHU】委託した人の出来不出来で契約解除もあるのか。

《会社》そういうことは想定していない。

【JHU】単純に計算すると。毎月12万5千円の報酬で、2年間契約で300万円になる。この300万に何か意味があるのか。

《会社》300が先にありきではない。労使間の解決で一定の区切りを付けたいということで2年間の位置づけだ。結果的に24かけると300になるが、12万5千円がベースということだ。

【JHU】解決する区切りとして結果的に300万。これは解決金みたいなものだと説明していると報告がある。

《会社》そんな説明をした事はない。

## 会社：(契約開始時期の違いは) 協議の中で出てきた

【JHU】契約開始時期が、乗員組合は3段階に分かれ、CCUは一段階だけ。各労組に対して違う説明がされている。

《会社》各労組と個別の話し合いの結果なのでお伝えできない。

【JHU】JHUの資料に、契約開始時期が示されていないのは何故か。

《会社》提案した時には、いつからいつまでというのは3労組にも言っていない。

【JHU】いつ出したのか。

【JHU】会社が優位的地位を利用して、2年間の契約途中で契約期間を短縮したり、報酬を一方的に引き下げることがあるのか。

《会社》一方的に引き下げるのは考えていないが、業務の遂行がキチンとされていない場合は、その可能性はある。

【JHU】60才未満の人、70才以上の人がいるが、2年間、12万5千円は変わらないのか。

《会社》70才の人はどうするかという問題も常に指摘されていたので、時間、場所、年齢の問題そこを全てクリアするために平等に考えている。

《会社》協議の中で出てきた。

【JHU】いつ出したのかの質問に答えよ。

《会社》お答えする必要はない。少なくとも23日には出していない。

【JHU】23日にもし出していなければ、その後何回も交渉したということだな。

《会社》同じ日に同じ内容を伝えた。これが事実。

【JHU】23日にはなかったからJHUには説明しなかった。他の労組には、その後の交渉を受けて決まったということだな。

## 会社：組合が解決する前提で業務委託を提案した、後は、受けた側の判断だ

【JHU】(会社提示資料にある)「委託する具体的な業務内容は、応募状況を踏まえて会社が決定する」とはどういう意味か。

《会社》応募人数により、業務例の①番を一人ではなく、複数人でやって貰う場合もある。一人が①番を24ヶ月やるのではなく、幾つかパッケージにしてやって貰おうと思っている。1回で決めるのではなく、月毎のバリエーションも考えている。これは業務例なので、他にも考えなければならぬと考えている。

【JHU】何をやって貰うかも、グループ分けも、応募した人によって会社が決定するという意味か。

《会社》やり取りしながら。

【JHU】応募した個人とやり取りするのか。

《会社》どういったやり方をするかは決めていない。

【JHU】どうやって12万5千円の価値の仕事にするのか。

《会社》組合が解決する前提で、仕事を業務委託する提案をしている。後は受けた側の判断だ。

【JHU】仕事の中身は決まっていない。働かせ方も決まっていない。それで毎月決まった報酬だけは払うのなら、解決金で一括して払えば良いと言う考えもある。

《会社》まずは3つの組合に骨太方針を提案して、これで良いOKということであれば、どんな仕事か白紙の状態でも提案する訳にはいかないの、具体的にはこういう形でやろうということだ。

【JHU】骨太方針を出しただけで、具体的なものは2労組にも説明していないのか。

《会社》骨太方針も仕事の内容もほぼこれが全てだ。

## 会社:(委託の業務内容は)説明しないと一言も言っていない、 業務委託契約を結ぶまでに示す

【JHU】業務委託は、業務内容を明示して募集する必要がある。具体的な業務内容はいつ提示するのか。

《会社》この内容を前向きに受けて頂くかどうかで、進んでいくと思う。

【JHU】受けられるか受けられないか、具体的なものがなければ決められない。いつ提示するのか。

《会社》今想定している仕事とかお示ししている。

【JHU】業務例①はこういう業務だ、一日大体これくらいの業務時間で果たせる業務量だ等、業務の具体的な説明は業務委託が開始される11月1日まで示さないのか。

《会社》説明しないと一言も言っていない。業務委託契約を結ぶまでに示す。

## 会社:(委託業務はどう決めるのか)細かいところはこれから決める (委託業務は誰が決めるのか)幅広く全員ができるようにする

【JHU】委託する業務は、マッチングの様に面接して決めるのか。

《会社》契約を結ぶ段階までには決めたい。今は12万5千円分の仕事をお願いして、その結果がちゃんと戻ってくる、それを提案している段階。例示している業務の細かい所はこれから詰める。

【JHU】業務内容を応募者は選べるのか、それとも会社が決めるのか。

《会社》幅広く全員の方ができるようにする。

【JHU】決まっていないということか。

《会社》本人が希望する、会社をお願いする場合の両方ある。

【JHU】「業務委託契約」に手を挙げた場合、どのような手順で採用となるのか。応募して不採用となることはあるのか。

《会社》3組合と解決したいということで示している。組合としてどうするのか、反対の場合は個人としてもあり得ない。まず組合と会社の間で解決する前提で、その方が応募すれば、組合と応募者個人の双方でやる。

【JHU】Zoomもできない、環境もない場合は、リモートワークもできないかもしれない。

《会社》Zoomが条件ではない。会社に来ないで、家でできるということだ。

【JHU】Wi-fiやPCが使えなくてもいいのか。

《会社》業務の内容により個別に調整する。時間だ。

【JHU】質問が終わっていない。会社として説明する責任がある。

《会社》これで最後というわけではない。終わった後で、次をいつセットするか話をする。

【JHU】他労組とは少なくとも6回の交渉を既に行っている。説明をする交渉を早急に入れるよう要求する。また、世界中で大問題となり法的にも複雑な問題を含んでいる業務委託について、質疑した範囲でもまだ決まっていないということが沢山あった。我々はしっかり聞きたいので本日の交渉では弁護士代理人の出席を求めた。しかし、会社代理人の都合で、出席ができなかったことについて抗議する。これで終わる。

## 会社:これで終わりというわけではない、後で次をいつセットするか話をする

7月15日にJHUとして会社提案の「業務委託契約」に係る、1回目の事務折衝を行いました。質疑内容を見ても会社が提案した「業務委託契約」には数多くの問題があります。

JHUは「業務委託契約」について引き続き会社に説明を求めるとともに、解雇争議の早期全体解決に向け全力で取り組みます。

以上